



# 耕心 ～夢追いかけて～

佐世保市立吉井中学校  
学校だより 第32号  
文責 校長 川口 貴晴  
令和2年10月26日(月)発行

【学校教育目標】自ら生きる力を培う生徒の育成  
【めざす学校像】生徒一人ひとりの夢と志を育む学校  
【一徳運動】「みそあじ運動(みなり・そうじ・あいさつ・じかん)」



## 10月のウェルカムボード

10月のウェルカムボードを紹介するのをすっかり忘れていました。申し訳ありません。今月も立派なボードを美術部が作成してくれました。本当に感謝するばかりです！

美術部作品

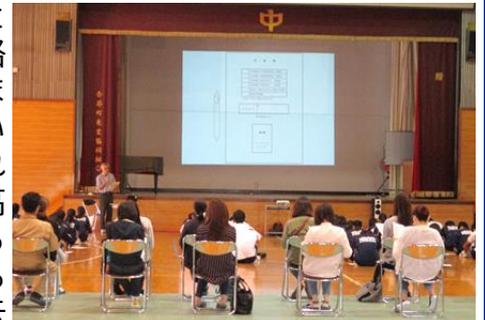


## いろいろな行事がありました！

10月13日(火)に後期が始まったばかりですが、実力テストを皮切りに、今日までたくさんの行事がありました。前号で、「校区内クリーン作戦」は紹介しましたので、その他の行事を紹介します。

### 進路説明会(19日)

3年生の生徒と保護者向けに進路説明会を実施しました。30名近い保護者が来校され入試への関心の高さや、今年度から入試制度が変わる不安の大きさが伝わりました。説明会では、公立高校入試制度の変更点や受検までの今後の流れ、手続き方法、私立高校入試などについて、進路指導主事から丁寧な説明がありました。生徒も保護者も真剣そのもので、あっという間の50分でした。多くの変更点がある高校入試ですので、わからないこともあるかと思います。何かあれば遠慮なく学校までお尋ねください。吉井中3年生の全員が、来春には立派な花を咲かせられますように、吉井中教職員が一丸となって応援・支援してまいります。



### おくすり教室(19日)

本校の学校薬剤師の豊山英樹先生をお招きして、3年生対象に、薬に関する講話を開催していただきました。生徒からは、「新薬の開発はどのように行うのか?」「なぜ副作用があるのか?」「なぜ水で飲まなければならないのか?」などの質問がなされ、内容のある貴重な時間となりました。



## 作曲コンクール（22日）

合唱コンクール中止に伴う、代替行事として作曲コンクールを実施しました。生徒は、臨時休業中から歌詞を考え、学校再開後に作曲をしました。どの曲にも生徒の思いや願いが込められており、甲乙つけがたい作品ばかりでした。コンクール当日は、生徒全員による事前審査で選ばれた9曲と学級全員で作成した学級歌が披露され、金銀銅賞が決定しました。



受賞作品は以下の通りです。

### 【個人の部】

- 金賞 松永悠菜 さん「花」（1-1）
- 銀賞 林田知真 さん「がんばろう」（3-1）
- 銅賞 松尾みづき さん「オリジン」（1-1）



### 【学級の部】

- 金賞 3-2 「Believe」
- 銀賞 3-1 「3C」
- 銅賞 1-2 「Have a dream」



## 研究授業（23日）



市教委の学力向上対策の1つとして、本校で数学科の研究授業が実施されました。10名以上の先生方に来校いただき、本校の日頃の取組の成果を見ていただきました。

「電気料金がお得なのはどの会社か？」という関数の学習に関わる課題に、3-1の生徒は真剣に取り組んでいました。親和的で温かい雰囲気のある学級で話し合い活動などもスムーズに進んでいました。発表する生徒も根拠をもって自分の考え

をきちんと述べるなど、確かな成長の跡を感じる授業でした。27日（火）には、3-1で社会科の研究授業も行われます。こちらも楽しみです。



## 吉井中学校！いいねっ！



「いいね！」の第15回目です。吉井中の生徒はよく頑張っていますよ！うれしいことです！

〔いいね！97〕2年1組男子：あるクラスの生徒が部活動に来ないので、と様子を見に来てくれた。優しい先輩だなと思いました。

〔いいね！98〕1年2組たくさんの生徒：道徳の時間に書き終わった生徒に対して、「この後、どうするか考えてね～」という、これまで指示していたファイルと教科書、ワークシートの回収をしてくれた。してくれる生徒が増えていて、驚いたとともに嬉しかったです。

〔いいね！99〕1年2組男女：道徳で使ったホワイトボードを消していると、「先生、消します！」と言ってきて、手伝ってくれました。自分にできることを考えることができる生徒たちに成長を感じました。

## 見事な記録で駆け抜けました！

先日より紹介していた3年生の中川穂泉さんが、「JOC ジュニアオリンピックカップ全国中学生陸上競技大会2020」の100m競技に出場し、B決勝の第1位となりました。惜しくもA決勝には進めませんでした。タイム的にはA決勝の1位、2位（同着優勝10秒87）に次ぐ11秒05の好記録（A決勝3位に相当）でした。このような大会に出場するだけでも本当に素晴らしいことです。同じ仲間が大舞台で活躍することは本校生徒の大きな励みにもなります。今後もまだまだ頑張りたいとのことですので、健闘を祈りたいと思います。

中川さんが書いてくれた「JOCに参加して」を紹介します。

「今回は、自分の弱さを知る大会でした。横浜に行く前から寒いのはわかっていて防寒対策をしていたけどその予想をはるかに超えて12.5℃の気温に対応しきれず、予選3着の全体12位でA決勝を逃しました。次の日は温度も上がり、感覚的に良い調子だったのでアップの時から勝てると思いました。B決勝だったけど、しっかりとゾーンに入り、少しスタートでかたくなったけど、中盤から後半にかけてスムーズに走れて、1着で、タイムだけでは全国の3位となりました。自己ベストでは、7位の記録だったけど、全国の壁はやっぱりあって、どんなに万全な状態でやってきても自分の走りができなければ意味がないと思いました。だからどんな状況でもいつもの自分であることが大切だと思いました。そして、次はインターハイで日本一を取ります！

今回、いろいろな面で応援してくださった多くの皆様、本当にありがとうございました。感謝しています。」



